

委員から出された意見

P I 外環沿線会議 (第 16 回) (平成 18 年 1 月 19 日)

前回までに頂いたご意見について

意見

- ・青梅街道インターチェンジがハーフの場合の影響に対して前回質問したが、国の回答は間違っているので正確に答弁してほしい。(武田委員)
- ・これまで外環がある場合とない場合の比較や、外環以外のさまざまな代替案を示して評価等をして説明したとの認識であり、足りない分は指摘して頂き、回答していきたい。
- ・ジャンクション整備には広い空間が必要であり、現在の都市計画のジャンクションの位置がもっとも地域への影響が少ないと考えている。
- ・また、浅深度区間での地上構造物への影響等を考えると、現在の都市計画のルートがもっとも適切だと考えている。計画段階でもルートについての意見があれば検討したい。
- ・住民の意見にはできるだけ回答しているつもりであり、足りない部分があれば P I 会議や意見を聴く会等で回答をしていきたい。
- ・環境や生活への影響はこれまで他の事例等で説明してきており、具体的な数値は計画段階の中で示して議論したい。
- ・将来人口が減少するとの前提で将来交通量を計算しており、その資料も提示してきた。
- ・現在は外環の必要性を議論しており、採算性は必要と決まった後に事業手法等の中で検討していく。
- ・構想段階の総括にあたっては、3 年間の議論の内容や住民の意見を伝えながら、学識経験者や経済界等の意見を聴いてきたものであり、地域 P I でも必要性や「考え方」を発表した経緯等を説明しているので、さらに足りないということであれば指摘してほしい。(山本委員)
- ・平成 16 年から練馬問題を P I 協議会で議論し、21 項目の対応状況をまとめ、練馬区の委員からほぼ対応済と報告されており、対応できていない項目も事業化に向けて検討を進めている状況である。(臼田委員)
- ・技術専門委員会の委員長の発言は、住民の心配に応えるには環境への影響の詳細な検討が必要であるが、現行の制度では都市計画変更の手續とあわせて環境影響評価をすることになっているから、その手續きの中で検討されるだろうと考え発言したことで、発言の一部を意図とは違う形で報道され、結果として住民に不信感を与えることになったのは残念で、この点をご理解いただきたいとのことであった。
- ・現在は都市計画決定と環境影響評価の手續きの前の段階で、意見を聴きながら計画の具体化の検討を進め、一方で、計画概念図をもとに環境への影響の検討も進めており、中身が詰まり次第、都に渡し、皆様方に説明する。
- ・今後も引き続き地域 P I を進めていくので、形式等の提案があればしてほしい。
- ・全体の P I では、地域 P I の状況報告をし、その内容について意見をいただきたい。また、環境影響の資料も出していきたいので、その中身についても P I 会議で議論してほしい。
- ・青梅街道が北側半分だけの場合の将来交通量を改めて計算しており、各地域で説明していきたいということをお前の P I 会議で回答した。(山本委員)
- ・埼玉県の交通量が外環整備と同時期に急増していることから、誘発交通が生じた可能性が大きいと思われる、外環を整備すると誘発交通によって周辺道路の交通量が増加するのではないかと。【提出資料補足説明】
- ・過去に道路整備で渋滞減少が永続した事例も思い浮かばず、外環整備は渋滞問題の解決にはならず、環境改善効果は期待できないのではないかと。【提出資料補足説明】
- ・業務、非業務ともに同じ時間価値を用いるのであれば、環境の喪失分等も貨幣換算して費用対効果の計算に入れるべき。【提出資料補足説明】
- ・外環において代替案との比較検討は具体的にどのようなことを行ったのか教えてほしい。
- ・構想段階の検討が十分尽くされたとは思われず、引き続き検討が必要である。(江崎委員)
- ・オオタカに関する調査の事後報告と見解を示してほしい。(栗林委員)
- ・10 月以降の調査でオオタカの飛翔、鳴き声、食痕を確認した。今年もフォロー調査を続ける。(山本委員)
- ・外環は原点に戻って構想段階から P I を行うはずなのに、実際には行われておらず、必要性の議論はしたが、必要性の議論で納得のできる回答はされていない。
- ・計画段階で何を話し合うかの議論もなく、行政から勝手に計画段階の案が出てきて、それに対して議論するのはおかしい。
- ・外環が整備された場合に周辺道路でいろいろな問題が生じることを心配しているのに、東京都の練馬問題の回答には進展が見られないがいったいつ終わるのか。(濱本委員)
- ・計画段階について何を議論すべきかわからないので、議題やスケジュールを示してほしい。
- ・21 項目に含まれる内容だけでは練馬の渋滞を解消しきれないので、できるだけ基盤整備を急いでほしい。
- ・前から提出を頼んでいる東京都の埋蔵文化財の調査報告書が出ていない。(武田委員)

- ・外環が必要ならば、どうして昭和41年の都市計画決定当時から継続して住民と話し合いをしなかったのか。
- ・行政から一方的に提案するのではなく、住民ともっと話し合いながら検討していくべきである。(新委員)
- ・代替案を示して、なぜ現在のルートなのかをしっかりと説明してほしい。
- ・構想段階に住民からも代替案を提示する考えがあったが、国からの代替案が示されなかったために、出す機会のないまま構想段階が終了してしまった。(濱本委員)
- ・大泉の渋滞は、誘発交通の影響もあるのではないか。
- ・外環と他の交通政策との比較が必要である。
- ・東名ジャンクション予定地以外にジャンクションをつくった場合との比較をしてほしい。(江崎委員)
- ・インターチェンジ等の周辺に建物が多く建ち、ルートを変更しにくくなったのは、今まで放置してきた国にも責任があるのではないか。(新委員)
- ・長年放置してきたことに関して大臣が遺憾の意を表明したことが1つのきっかけとなり話し合いが進んでいると考えており、話し合いは非常に重要であると認識している。
- ・計画段階で、外環の必要性、ルートの位置、構造等を改めて議論しているとの認識である。
- ・「外環の必要性(案)」を提示した際に、外環以外にもソフト政策等も含めて代替案を提示して、それをもとに議論をし、他にも代替案があれば提示してほしいと言いながら議論を進めてきたと認識している。
- ・「考え方」は、国と都が1つのたたき台として提案をしているもので、よりよい案があれば変わり得るとの考えで、さまざまな意見を踏まえてしっかり検討していく。(山本委員)
- ・意見を聴く会は国がPI会議で発言しているような意見交換会ではなく、図面の説明会になっている。
- ・構想段階の区切りの際に反対者は明確な理由を示しているが、賛成者は理由があいまいであり、構想段階の総括が納得できる内容ではないので、計画段階に入る時はもっと慎重にやるべきである。(濱本委員)
- ・関係する住民の意見も聴きながら練馬問題の残りの項目も早急に事業化するよう取り組んでいる。
- ・埋蔵文化財の資料は公開されているので提示する。(臼田委員)
- ・意見を聴く会で計画が固まっているように誤解を招いていたのであれば、お詫びをしないといけない。
- ・これまでインターチェンジ等に関して複数案を示し、その複数案の評価結果を示しながら地域で今回の案の根拠を説明しながら意見を聴いている理解でいる。
- ・意見の聴き方について提案があればぜひいただきたい。(山本委員)
- ・意見を聴く会で説明する案は一つではなく、例えば青梅街道インターチェンジについて、ハーフだけでなく設置しない案等を提示してもよいのではないか。
- ・なぜハーフの青梅街道インターチェンジが必要なのかをしっかりと説明しなければならない。(濱本委員)
- ・インターチェンジの固定概念にとらわれるのではなく、出口を複数に設ける、全部地下にする等様々な検討をして、むしろ住民に好まれるインターチェンジにすべき。
- ・住民に嫌われないインターチェンジや換気塔を検討することになぜチャレンジしないのか。
- ・地上部街路は外環の議論が落ち着くまで棚上げにすべきである。(武田委員)

地域PIの状況(報告及び意見交換)について

意見

- ・住民の意見をどう反映するののかとの質問に対して、国は反映できるものはすると回答したが、都合のいい意見のみを取り上げるように聞こえる。
- ・住民が提案した別のルート案に対して、国が現在の計画線内を基本としているので検討できないというような意味の回答をしていた。
- ・意見を聴く会では、住民のどのような意見についても、検討してみるとか、どうしてもだめなものには明確な理由を言うようなしっかりとした説明があるべき。
- ・住民は意見を聴く会でしか発言できないので、意見として聴いておきますという処理は絶対しないで、いつかどこかで回答してほしい。(栗林委員)
- ・次回の地域PIで、調布市にオープンハウスが予定されているが、いまさら必要ないので意見を聴く会を実施するようにした。
- ・PI会議の委員に相談せず行政だけで地域PIの日程や内容等を決めるべきではない。(渡辺委員)
- ・地域PIとPI会議に関連がないのはおかしい。(濱本委員)
- ・PI会議の委員が地域PIに呼ばれていないのはおかしい。(濱本委員)
- ・私たちが考えていることや資料を全て公表していき、ご批判やご意見をいただきながら進めていきたい。
- ・今後、今までご指摘を頂いて答えられていない環境に関するデータや予測評価に関する資料等を公表していくので、ご批判やご指摘を頂きたい。(山内委員)
- ・PI会議で住民側の意見を聴くと言っているのに、意見を聴く会ではしっかりと聴いてほしい。(植田委員)
- ・地上部街路等に関して、全ての情報を公表することが押し付けにならないようにしてほしい。(宿澤委員)
- ・地上部街路に関しては検討の方向を示しており、廃止する案も提示している。(山口委員)